

楽しい海辺の キャンピング

潮(しお)の香(かおり)をむねいっぱい
に吸(す)い、波の音を聞きながら、
空(そら)いっぱい星(ほし)をあおいで生活する海
辺のキャンピングは、大自然(たいてん)にじかに
ふれることのできるすばらしい野外生
活だ。

しかし、ふだんの生活とちがって電
気やガスのない生活をするのだから、
みんなで協力(きょうりょく)しあうことはもちろんの
こと、知恵(ちえ)を出しあっているんな工夫
をし、どうすれば楽しい自分たちの生
活ができるかを考えてみよう。

残念(ざんねん)なことにキャンプを禁止(きん
し)している場所もあるので、よくし
らべてからキャンプ地(ち)を選ぶようにし
よう。



●岩を利用してカマドをつくる

海辺でキャンプするときのカマドは、
ちょうどよい岩の間を利用するか、石
を積み上げてつくるのがいちばんいい。
積み上げた石がぐらぐらするときは、
すき間に小石をつめて安定させる。

たき口は風上側にくるようにし、炎
(ほのお)が飯(い)ごうや、なべの底(そこ)をつつ
むような高さにする。

■石を反射板(はんしゃばん)として



■岩のあいだを利用して



■石を積んで



■岩を掘(ほ)り起こして



点火したあとでは、よく燃(も)えない
いからといって、ガソリンや灯油を
かけると非常(ひじょう)に危険(きけん)
なので、絶対(ぜったい)にしてはいけない。

キャンプ生活をしたあとは、どうし
ても汚(よご)れがちになるものだ。ま
わりの人や、あとで来る人たちのめい
わくにならないように十分に気をつけ、
海や海岸の自然環境(しぜんかんきょう)
を守り、美しく保(たも)つように心が
けよう。